

春の陽気に包まれて 第17回紀州湯浅のシロウオまつり開催

3月19日㊤、広橋、島之内商店街周辺にて、第17回紀州湯浅のシロウオまつりが開催され、3年ぶりの開催を心待ちにしていた多くの方で会場が賑わいました。

四つ手網漁見学、シロウオ料理の販売、シロウオすくい、ミニロゲイニングなどのさまざまなイベントが催され、シロウオの踊り食いを体験した参加者は、活きのいいシロウオに驚きながら湯浅の春の味覚を堪能しました。



シロウオすくい



シロウオ漁



オープニングセレモニーでの疾風打太鼓



賑わう会場

春の風物詩シロウオ漁 夜漁を限定開催

3月11日㊤、春の訪れを知らせる魚、シロウオの夜漁が1日限定で行われました。灯りをともした四つ手網での漁を見ようと、カメラを構えた大勢の見物客が訪れ、この季節にしか見られない幻想的な光景を写真に収めました。



うめきた新駅・湯浅駅直結 記念セレモニーを開催

3月18日㊤、JR西日本主催「うめきた新駅」開業に伴う記念セレモニーが湯浅駅にて行われました。

当日は、うめきた新駅始発の特急「くろしお」を利用した湯浅・広川日帰りツアー参加者が湯浅駅に訪れ、街並みや観光スポットを堪能しました。



重要文化財指定書を 伝達しました

3月11日㊤、昨年12月12日に国の重要文化財建造物に指定された「角長（加納家住宅）」へ重要文化財指定書の伝達を行いました。

建物の所有者である加納 長兵衛氏の代理として、加納 誠氏、加納 恒儀氏が登壇し、指定書を受け取りました。

角長（加納家住宅）は、江戸時代末期から醤油醸造を続けており、今回重要文化財に指定されたのは、現役で使われている醤油蔵等の醸造施設や住居の11棟です。



町民歴史講座を 開催しました

3月11日㊤、湯浅えき蔵にて、町民歴史講座「日本の醤油の成り立ちと湯浅醤油」を開催し、神戸大学名誉教授 天野 雅敏氏にご講演いただきました。

当日は、講演の内容に関連する、湯浅の醤油についての文化財の展示も併せて行いました。



令和4年度 消防功労者定例表彰

この表彰は、長年消防団業務に献身していただき、他の模範となる活動をなされた消防団員に授与されます。



和歌山県消防協会長表彰 勤続章(40年)
ふみのゆき
本部 深野 幸男



日本消防協会長表彰 勤続章(30年)
なげうらのゆき
第3分団 竹内 伸幸



日本消防協会長表彰 勤続章(30年)
和歌山県消防協会長表彰 功績章
なまきひでよ
第10分団 三木 英世